

2020年9月期 決算説明資料

2020年11月12日

証券コード:4124



大阪油化工業株式会社



目次

1.決算概要 P.3

2.今後に関して P.13

3.参考資料 P.19

1. 決算概要

決算ハイライト

連結

売上高
1,050百万円
 前期比**3.4%**減※1

営業利益
111百万円
 前期比**3.9%**増※1

受託蒸留事業

売上高
915百万円
 前期比**15.2%**減※2

プラント事業

売上高
135百万円
 前期比**1376.5%**増※2

※1：2019年9月期は連結決算を行っていませんが、2019年9月期の単体の実績を使用し、前期比を算出しております。

※2：会計基準に準拠した数値ではないものの、参考情報として、各事業の売上高前期比数値を掲載させていただいております。

当該数値算出にあたり、2019年9月期受託蒸留事業売上高については、旧売上区分である「研究開発支援」及び「受託加工」の売上高を使用し、2019年9月期プラント事業売上高については、旧売上区分である「プラントサービス」の売上高を使用しております。

連結損益計算書

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響による一部取引先の在庫調整等の影響を受け、前期に比べて売上高減少
- ◆ プラント事業強化等を目的とした人員増強による人件費の増加及び生産設備(連続蒸留塔等)の新設等による減価償却費の増加があったものの、経費削減に努めたことにより、前期に比べて利益面は微増

(単位:百万円)	2019年9月期※1	構成比(%)	2020年9月期	構成比(%)	増減率(%)※2
売上高	1,088	100.0	1,050	100.0	▲3.4
売上原価	648	59.6	621	59.2	▲4.2
売上総利益	439	40.4	429	40.8	▲2.3
販売費及び一般管理費	331	30.5	317	30.2	▲4.3
営業利益	107	9.9	111	10.6	3.9
経常利益	104	9.6	110	10.5	6.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	6.7	75	7.2	3.3
1株当たり当期純利益(円)	68.37		71.55		

※1 2019年9月期の数値は、2019年9月期単体の実績値を使用しております。

※2 2019年9月期は連結決算を行っておりませんが、2019年9月期の単体の実績を使用し、増減率を算出しております。

連結貸借対照表

- ◆ 利益増加に伴い、現金及び預金が増加

(単位:百万円)	2019年9月期※1	2020年9月期	増減※2	主な増減要因※2
流動資産	954	1,107	152	現金及び預金+129, 原料+54, 売掛金▲19
固定資産	847	829	▲17	土地+74, 機械装置(純額)▲48, 建設仮勘定▲20
資産合計	1,801	1,937	135	
流動負債	143	253	109	未払消費税+43, 買掛金+33, 未払費用+25
固定負債	-	-	-	-
負債合計	143	253	109	
純資産合計	1,657	1,683	26	利益剰余金+47(当期利益剰余金+75, 剰余金の配当▲26), 自己株式▲21
負債純資産合計	1,801	1,937	135	

※1 2019年9月期の数値は、2019年9月期単体の実績値を使用しております。

※2 2019年9月期は連結決算を行っておりませんが、2019年9月期の単体の実績を使用し、増減を算出しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フローは、334百万円を獲得（前年同期比68百万円増）
- ◆ 既存設備更新等による、合計150百万円の投資を実施（前年同期比211百万円減）

(単位:百万円)	2019年9月期※1	2020年9月期	増減※2
営業活動によるキャッシュ・フロー	265	334	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 361	▲ 150	211
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 95	183	279
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 59	▲ 54	4
現金及び現金同等物の増減額	▲ 155	129	284
現金及び現金同等物の期首残高	908	753	▲ 155
現金及び現金同等物の期末残高	753	883	129

※1 2019年9月期の数値は、2019年9月期単体の実績値を使用しております。

※2 2019年9月期は連結決算を行っておりませんが、2019年9月期の単体の実績を使用し、増減を算出しております。

受託蒸留事業 売上高

- ◆ 研究開発支援売上高については、新規案件数は増加したことにより、**前期比21.6%増**
- ◆ 受託加工売上高については、2020年4月及び5月の緊急事態宣言の発令を主要因として、当該期間において工場の稼働を減らしたことにより、**前期比23.1%減**

(単位:百万円)	2019年9月期	2020年9月期	前期比 (%)
受託蒸留事業売上高	※ 1,079	915	※ ▲15.2
研究開発支援売上高	190	231	21.6
受託加工売上高	889	683	▲23.1

プラント事業 売上高

- ◆ プラント事業については、1億円以上の大型案件及び小型案件2件を獲得したことにより、**前期比1376.5%増**

(単位:百万円)	2019年9月期	2020年9月期	前期比 (%)
プラント事業売上高	※9	135	※1,376.5

<イメージ図>



新規取引件数等推移

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、通期ではほぼ横ばいの件数で着地

(単位:件)	2019年9月期	2020年9月期
新規案件数	47	47
研究案件	20	17
問い合わせ件数	154	153

(単位:社)	2019年9月期	2020年9月期
新規取引先数	16	13

株主還元

- ◆ 2020年9月期における配当については、前期と同額の1株当たり25円を実施予定

	2019年9月期	2020年9月期
1株当たり配当金（円）	25	25
配当性向（％）	36.6	34.9

【2021年9月期予想値】

2021年9月期における配当についても、1株当たり25円を予定

新型コロナウイルス感染症への対応

具体的な取り組み	副次的な効果
非製造部門におけるテレワークの導入	通勤負担低減
時差出勤の強化	それぞれの働きやすい環境に
WEB会議ツールの活用	遠方の顧客とも密にコミュニケーション
出張や拠点間移動のルール厳格化	目的をもって外出を行うように
作業場・事務所の人口密度緩和の推進	働く場所の適切化・効率化
検温・消毒・マスク着用の励行	他の感染症発症・病欠の低減

▼
継続と定着を図る

2. 今後に関して

通期連結業績予想

- ◆ 売上高に関して、受託蒸留事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期と同水準に推移する見通し。プラント事業については、中小型案件のみの予想である為、前期を下回る見通し
- ◆ 利益面に関しては、主として売上高減少見込みに加えて、将来を見据えた人材投資による人件費増加の見込みにより、前期を下回る見通し

連結

売上高 **968**百万円
前期比**7.8%**減

営業利益 **14**百万円
前期比**87.1%**減

受託蒸留事業

売上高
926百万円
前期比**1.3%**減

プラント事業

売上高
42百万円
前期比**69.1%**減

研究開発力の拡充

1

ICP-MS※導入

▶ 電子材料向け案件の
分析ニーズを汲むことが可能に

2

研究開発棟増築

▶ 分析機器増加に伴い、分析室拡張
作業効率を重視した配置に変更

3

品質管理専任者増員

▶ 当社の高品質を担保

**分析力・品質管理体制を強化し、
高付加価値案件の取り扱い強化**

工場隣接地の取得

- ◆ 2020年9月期に枚方工場拡張の為、土地(490㎡)を取得
- ◆ 以下2つの用途に利用予定

1

機械整備室新設

▶ 整備力の強化
当社の高品質を担保

2

備品倉庫新設

▶ 現拠点の生産効率向上
必要な部品や機器をストック

▼

**自社装置の性能の維持・向上に加え、
外部へのメンテナンスサービス提供に備える**

子会社ユカエンジニアリングの実績積上げ

- ◆ 2021年9月期に関しても、案件を受注済み
- ◆ 以下2つの強みをアピールし、実績積上げを図る

1 蒸留データをもとに設計



大阪油化の保有プラントで試験蒸留

2 使用者目線の設計



長年の蒸留精製の経験を活かし、
使いやすく設計

海外展開体制の整備

- ◆ 海外展開体制の整備を実行中
- ◆ 「製造即応サービス」と「受託蒸留のパッケージ化」の2サービスを展開予定
- ◆ 韓国・中国・台湾等のアジア圏を集中的に開拓予定

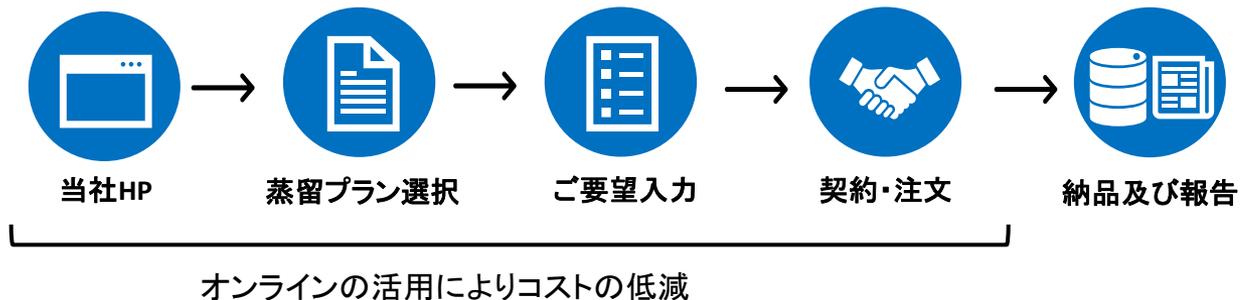
1

製造即応サービス



2

受託蒸留のパッケージ化



3. 参考資料

会社概要

- ◆ 社名 大阪油化工業株式会社
- ◆ 代表者 代表取締役社長 堀田哲平
- ◆ 創業 1949年11月
- ◆ 設立 1962年2月
- ◆ 本社所在地 大阪府枚方市新町一丁目12番1号 太陽生命枚方ビル7階
- ◆ 資本金 346百万円(2020年9月30日時点)
- ◆ 決算期 9月末
- ◆ 従業員数 48名(2020年9月30日時点)

事業所一覧

本社



京阪電鉄 枚方市駅
徒歩3分

〒573-1191
大阪府枚方市新町1-12-1
太陽生命枚方ビル7階

枚方工場



京阪電鉄 枚方市駅
タクシー20分

〒573-0136
大阪府枚方市春日西町2-27-33

東京営業所



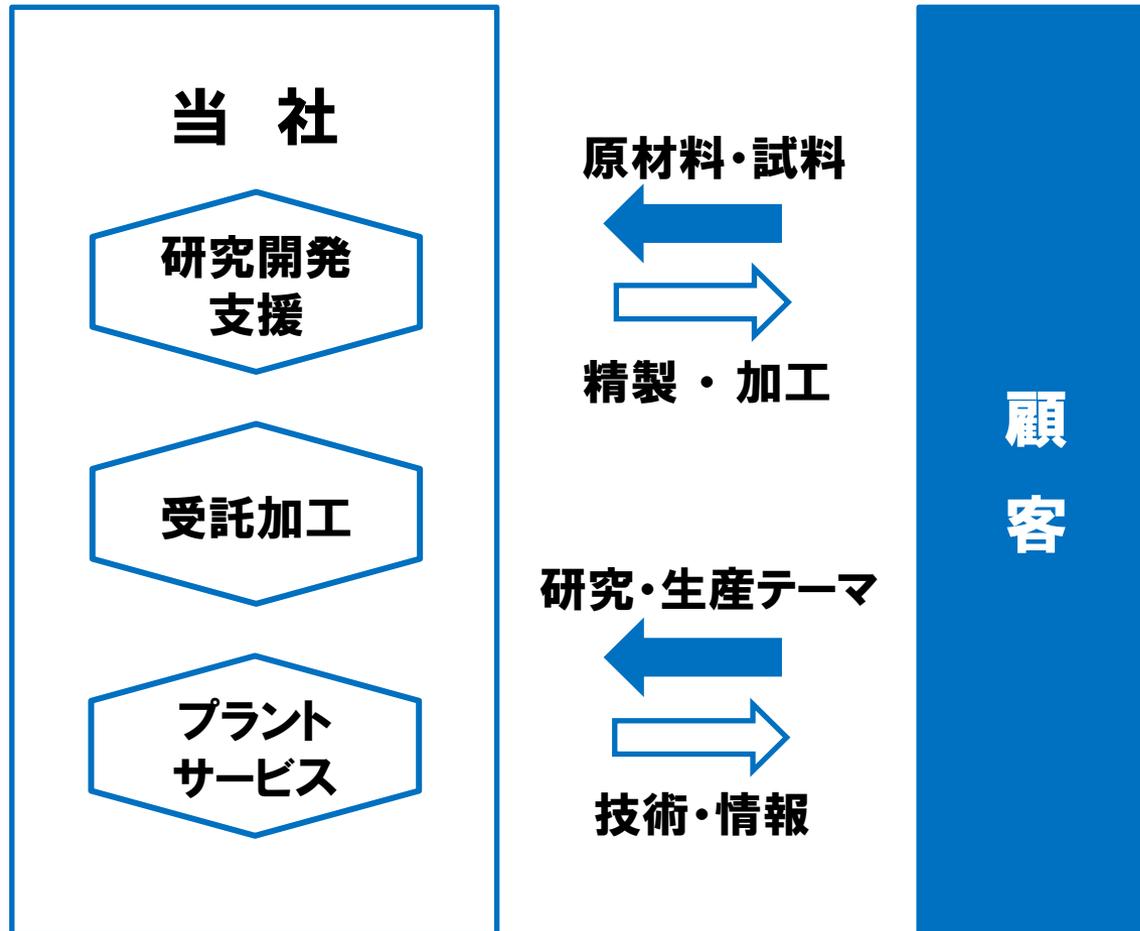
東京メトロ 茅場町駅
徒歩3分

〒104-0033
東京都中央区新川1-3-21
BIZ SMART茅場町306

沿革

年月	概要
1949年11月	粗パラフィンの精製及び販売のため、大阪府大阪市東成区に大阪油化工業所を創業
1962年2月	大阪油化工業株式会社を大阪府枚方市津田に設立(資本金2,000千円)
1963年4月	当社の独自設計による、減圧蒸留装置を本社工場(旧枚方工場)に設置
1973年11月	大阪府枚方市春日西町に本社及び工場(現枚方工場)を新築し、大阪府枚方市津田より本社移転
1998年4月	有機EL材料精製に対応するため、昇華精製装置を本社工場に設置
2000年4月	少量多品種に対応するため、高真空蒸留装置を本社工場に設置
2008年4月	ISO14001認証取得
2008年12月	ISO9001認証取得
2012年4月	研究開発支援分野を強化するため、研究実験棟を本社工場敷地内に設立
2013年4月	多様化する顧客ニーズに対応するため、研究開発用蒸留設備を本社工場に設置
2014年7月	増加する顧客ニーズに対応するため、プラントサービスを開始
2015年9月	生産能力増強のため、研究実験棟を本社工場敷地内に増設
2017年10月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場
2019年1月	大阪府枚方市新町に本社移転し、東京都中央区に東京営業所を新設
2019年3月	ISO45001認証取得
2019年6月	連続蒸留のテスト案件に対応するため、連続蒸留マルチプラントを枚方工場に設置
2019年10月	大阪府枚方市新町に子会社、ユカエンジニアリング株式会社を設立

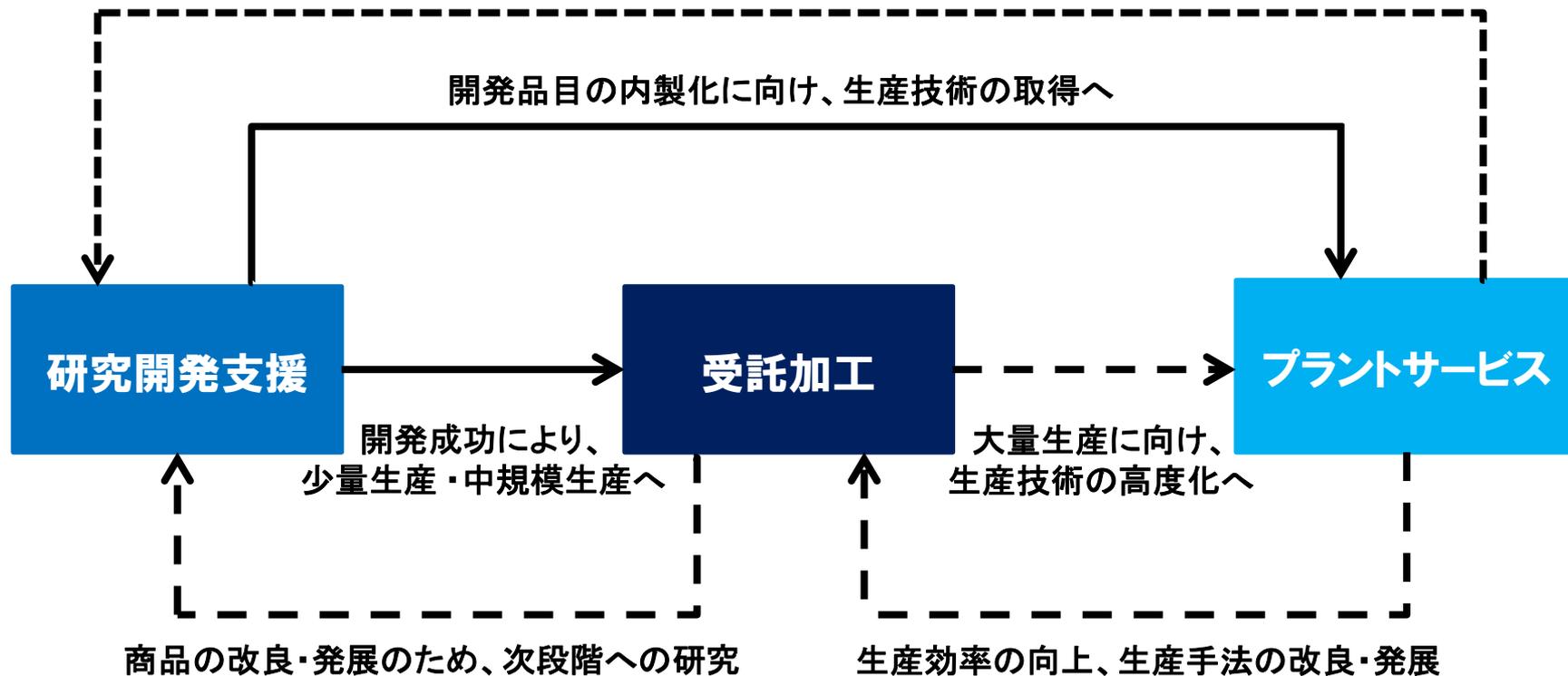
事業系統図



事業の流れ

生産品目の改定、装置の効率化のため、次段階の研究へ

開発品目の内製化に向け、生産技術の取得へ



一気通貫サービスの提供



＜お問い合わせ先＞

業務部

TEL: 072-861-5322

MAIL: md@osaka-yuka.co.jp

URL: <https://www.osaka-yuka.co.jp/>

＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社に関連する業界動向等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。